

新しい歴史をつくらう

# KIMASSI

KANAZAWA

KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS  
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

2020年1月

金沢問屋センターニュース

Vol.136  
January

新年互例会

2020年度の経済見通し

子年男大いに語る

BCPセミナー報告

第14回キマシカップボウリング開催

わが社をPR

事務局だより

## INFORMATION

11月

●5日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 中間決算について

(2) 出資金見合いの緊急融資について

2. 組合運営委員会より

(1) 大ホール等空調について

(2) 町内一斉清掃について

3. 厚生委員会より

(1) ゴルフ大会について

4. BCP委員会より

(1) 金沢市卸売業競争力強化支援事業について

(2) 広報誌第135号の発行について

5. 街力発信委員会より

(1) アートパーク「mu-ku」の展示作品コンペについて

(2) 問屋まちスタジオイベントについて

6. 青年部会より

(1) 10月定例会について

(2) 11月定例会について

●21日・22日 高知卸商センター(協)様 視察研修



●25日 インフルエンザ予防接種 292名受診

●28日 インフルエンザ予防接種 300名受診



12月

●3日 理事会

1. 総務委員会より

(1) 新年祭について

(2) 新年互礼会について

(3) 景況調査について

(4) 組合員の脱退・加入について

(5) 生活習慣病予防健診について

(6) 新入社員行事について

2. 組合運営委員会より

(1) 共同駐車場修繕工事について

3. 厚生委員会より

(1) 労務管理講習会について

(2) 経営者研修会について

4. BCP委員会より

(1) 金沢市卸売業競争力強化支援事業について

5. 街力発信委員会より

(1) 問屋まちスタジオイベントについて  
(2) 「mu-ku」展示作品コンペティション最終審査について

6. 青年部会より

(1) 11月定例会について

(2) 1月定例会について

7. 事務局より

(1) 事務局の年末年始について

●3日 インフルエンザ予防接種 333名受診

●5日 (協)秋田卸センター様 来訪

●6日 (協)福山卸センター様 来訪

●9日 (協)青森総合卸センター様 来訪

●17日 インフルエンザ予防接種 120名受診

●21日 「mu-ku」展示作品コンペティション開催



### 編集後記

2020年は、ついに第5世代モバイルネットワーク(5G)元年となります。ずいぶん前から期待を寄せていた通信インフラであり、AIやVR、ARなどの新技術を組み合わせ合わせた利用環境を構築するうえで根幹になる存在と理解しています。第4世代まではおもに通信速度向上が目立っていましたが、今回は大容量化や遅延解消に注目が集まっているようです。5Gに関しては米中貿易摩擦の重要課題にもなっていることから、これからの情報社会を変えていく潜在能力は想像以上と考えられます。

私見ですが、東京オリンピックではセキュリティや観客へのサービスなど多くのシーンで利用されると思われます。まずは大都市圏から整備が進められるようですが、利用範囲が広がり地方においても様々なサービスをシームレスに利用できる環境が整備されれば、自動運転による利便性や事故防止、医療や教育などの格差は正の解消につながる事が期待できます。そのためにも広く開かれた情報通信基盤となるよう願っているところです。

(N.H)

第12回 石川県新人学童野球選手権大会 兼 協同組合金沢問屋センター旗争奪大会

### 中条ブルーインパルス 2連覇!

11月3日(日)・4日(祝)、金沢市内川スポーツ広場を主会場に県下15チームが参加して開催されました。本大会は5年生以下の新チームとして初めての県大会となります。3日の開会式では、宮地学童野球連盟会長に続いて当組合の大西副理事長が挨拶を行い、参加選手を激励しました。

4日の決勝戦は、河北支部代表の中条ブルーインパルスと七尾支部代表の山王クラブで行われ、中条ブルーインパルスが2連覇を達成。



優勝の中条ブルーインパルスに表彰状を授与する西川副理事長。

閉会式では、西川副理事長が優勝、準優勝チームの選手一人ひとりにメダルをかけ、それぞれのチームの健闘を称えました。その後、優勝・準優勝の両チームがグラウンドを行進し、大会を終りました。



# 2020年の経済見通し

2019年の経済動向

昨年の方が国経済をみますと、内需が底堅く推移した一方で、外需の減速が続きました。個人消費は雇用環境の改善を受け、持ち直しの動きがみられました。設備投資は、緩やかな増加基調となりました。公共投資は、補正予算の効果もあり、底堅い動きとなりました。輸出は、海外経済の減速を受け弱含みで推移しました。

中小企業の景況感をみますと、輸出の弱含み等を背景に製造業の景況感には減速感がみられた一方で、非製造業の高水準を維持しました。

金融面につきましては、米中摩擦の激化や各国中央銀行による利下げ等の影響を受け、長期金利は低下基調となりましたが、秋頃から米

2020年の経済展望

2020年は、わが国では景気の減速が続くものと考えられます。民間エコノミストの予測を集計したESPフォーキャスト調査によると、2019年度および2020年度の實質GDP成長率はそれぞれ前年度比+0.69%、前年度比+0.39%と見込まれています。

キャッシュレス還元や教育無償化の効果は相応に見込まれるものの、消費増税による家計負担増加により個人消費への下押し圧力が残存することは避けられないとみられます。前半にはオリンピック関連需要という好材料がありますが、後半にはその効果が剥落することに加え、キャッシュレス還元の終了も予定されていることから、個人消費の停滞

感がさらに強まる恐れがあります。民間企業の設備投資は、これまでの堅調な伸びが続いてきましたが、2020年は鈍化する可能性に注意が必要です。前年に引き続き、機械投資としては非製造業の省力化・省人化投資などが、建設投資としてはインフラ関連投資等が支えとなる可能性が考えられます。しかしながら、輸出の減速や世界経済の先行き不透明感が製造業の景況感に影を落とす中で、製造業による更新投資や能力増強投資は力強さを欠くことが懸念されます。こうしたことから、これまでのような設備投資の伸びが持続しないというシナリオを視野に入れる必要があるでしょう。

一方公共投資は、災害からの復興や国土強靱化を目的とした公共工事が見込まれることを背景に底堅く推移すると考えられます。

外需に目を向けると、世界的な金融緩和が進み世界経済を下支えしているとはいえ、米中摩擦擦をはじめてとした世界経済の下押し圧力は依然として強い状況です。2019年後半には米中間の通商交渉において部分合意が取り沙汰されるなど明るい材料も見え隠れしましたが、両者の間には産業政策・安全保障に係る構造的な利害の相違があるため、全面合意に至るまではなお時間を要するとの見方が大勢となっています。

香港人権法を巡る対立も新たな火種となつていきます。保護主義が広がりをみせる中、世界景気を持ち直しが遅れるリスクは根強く、わが国の輸出回復が遅れる可能性にも目配りする必要があるでしょう。

また環境問題への取り組みも新たな段階へ進んでいくものと思われまます。環境汚染を懸念する国々が廃プラや古紙などの禁輸に転じ、日本国内の廃棄物処理難や価格下落など実体経済への影響も深まっています。

この間、脱炭素化の動きは急でESG投資や化石燃料企業からの投資融資引き揚げ(ダイベストメント)が加速しています。さらにSDGsや気候関連財務情報開示(TCFD)を経営に取り入れる企業が増えていきます。持続可能性や環境保護の視点は、もはや社会的責任(CSR)を超えて、事業機会や顧客の得失など企業業績を左右する段階に近づいているとも言われています。

私ども商工中金は「商工中金経営改革プログラム」に沿って「経営支援総合金融サービス事業」へ転換し、真にお客さま本位の長期的な視点から中小企業及び中小企業組合の価値向上に貢献するという基本的な考えを深め、お客さまとのリレーションを強化させ、真のニーズや課題に応じた最適なソリューションを提供してまいります。「中小企業による、中小企業のための金融機関」として皆さまから信頼され、支持され、これまで以上ににお役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいります。

年頭にあたり、皆さま方のますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げますとともに、本年も昨年同様にご指導賜りますようお願い申し上げます。

## 2019年の経済動向

新年明けましておめでとございます。2020年の新春を迎え、皆様にご挨拶申し上げますとともに、旧年中賜りましたご厚誼に對し心よりの御礼申し上げます。



株式会社商工組合中央金庫金沢支店 支店長 五十嵐 英樹

# 国内外の複合的な要因による景気減速に注意が必要

2020年は、わが国では景気の減速が続くものと考えられます。民間エコノミストの予測を集計したESPフォーキャスト調査によると、2019年度および2020年度の實質GDP成長率はそれぞれ前年度比+0.69%、前年度比+0.39%と見込まれています。

キャッシュレス還元や教育無償化の効果は相応に見込まれるものの、消費増税による家計負担増加により個人消費への下押し圧力が残存することは避けられないとみられます。前半にはオリンピック関連需要という好材料がありますが、後半にはその効果が剥落することに加え、キャッシュレス還元の終了も予定されていることから、個人消費の停滞

感がさらに強まる恐れがあります。民間企業の設備投資は、これまでの堅調な伸びが続いてきましたが、2020年は鈍化する可能性に注意が必要です。前年に引き続き、機械投資としては非製造業の省力化・省人化投資などが、建設投資としてはインフラ関連投資等が支えとなる可能性が考えられます。しかしながら、輸出の減速や世界経済の先行き不透明感が製造業の景況感に影を落とす中で、製造業による更新投資や能力増強投資は力強さを欠くことが懸念されます。こうしたことから、これまでのような設備投資の伸びが持続しないというシナリオを視野に入れる必要があるでしょう。

一方公共投資は、災害からの復興や国土強靱化を目的とした公共工事が見込まれることを背景に底堅く推移すると考えられます。

外需に目を向けると、世界的な金融緩和が進み世界経済を下支えしているとはいえ、米中摩擦擦をはじめてとした世界経済の下押し圧力は依然として強い状況です。2019年後半には米中間の通商交渉において部分合意が取り沙汰されるなど明るい材料も見え隠れしましたが、両者の間には産業政策・安全保障に係る構造的な利害の相違があるため、全面合意に至るまではなお時間を要するとの見方が大勢となっています。

香港人権法を巡る対立も新たな火種となつていきます。保護主義が広がりをみせる中、世界景気を持ち直しが遅れるリスクは根強く、わが国の輸出回復が遅れる可能性にも目配りする必要があるでしょう。

また環境問題への取り組みも新たな段階へ進んでいくものと思われまます。環境汚染を懸念する国々が廃プラや古紙などの禁輸に転じ、日本国内の廃棄物処理難や価格下落など実体経済への影響も深まっています。

この間、脱炭素化の動きは急でESG投資や化石燃料企業からの投資融資引き揚げ(ダイベストメント)が加速しています。さらにSDGsや気候関連財務情報開示(TCFD)を経営に取り入れる企業が増えていきます。持続可能性や環境保護の視点は、もはや社会的責任(CSR)を超えて、事業機会や顧客の得失など企業業績を左右する段階に近づいているとも言われています。

私ども商工中金は「商工中金経営改革プログラム」に沿って「経営支援総合金融サービス事業」へ転換し、真にお客さま本位の長期的な視点から中小企業及び中小企業組合の価値向上に貢献するという基本的な考えを深め、お客さまとのリレーションを強化させ、真のニーズや課題に応じた最適なソリューションを提供してまいります。「中小企業による、中小企業のための金融機関」として皆さまから信頼され、支持され、これまで以上ににお役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいります。

年頭にあたり、皆さま方のますますのご健勝とご発展をお祈り申し上げますとともに、本年も昨年同様にご指導賜りますようお願い申し上げます。

# 2020年 新年互礼会

協同組合 金沢問屋センター

## 2020年「令和」として迎える初めての新年を寿ぐ



当組合が進めるBCPの必要性を述べる高桑理事長。



「新しい時代に新しい歴史を」と山出氏。

約150人が集い新年互例会を開催

令和2年1月6日(月)14時30分より、金沢流通会館にて新年互例会を開催しました。150名を越える組合員、関係者の皆様のご参加を頂き、新年にふさわしい華やかなスタートを切る事ができました。またお陰様で例年通り、政財界から多くの来賓をお迎えして新年のご挨拶を賜りました。

互例会では、国家斉唱、三磨合同のご祝儀に続いて当組合の高桑幸一理事長が新年の挨拶を申し上げます。挨拶の中で高桑理事長は、昨年を振り返りながら台風で被害に遭われた方々へのお見舞いの言葉を述べられるとともに、当組合が積極的に進めるBCP(事業継続計画)研究の必要性などを述べました。

互例会に引き続き同会場にて懇親会を行い、乾杯の音頭は石川県中小企業団体中央会山出保会長に務めて頂きました。「新しい時代に新しい歴史を作ろう」とのお話を頂いた後、「乾杯!」のご発声で会場は一気に打ち解けた雰囲気となり、各テーブルでは組合員の皆さんが和やかに会話を交わす光景がみられました。

商工組合中央金庫金沢支店五十嵐英樹支店長の中締めにより、懇親会は盛会のうちに終了いたしました。

新しい時代の幕開けに集い、組合員企業が懇親を深めた。



谷本正憲石川県知事  
駅西地区の発展や金沢港のライトアップについて



山野之義金沢市長  
卸売市場の法改正に連れ流通業の変化について



馳浩衆議院議員  
働き方改革、及び人材教育のあり方について



山田修路参議院議員  
5G(第5世代移動通信システム)について



宮本周司参議院議員  
複数年度にまたがる事業に対応した補助金について



安宅建樹金沢商工会議所会頭  
当組合の広報誌、人材不足や最低賃金について

高桑幸一理事長が金沢商工会議所副会頭に就任

当組合の高桑幸一理事長が、昨年11月1日(金)金沢商工会議所の臨時議員総会にて副会頭に選任されました。さらに駅西振興協議会(旧:駅西開発協議会)の会長などの要職にも就任され、今後の一層のご活躍が期待されます。

株式会社キヨー・エイ 会長 高桑 幸一氏

# 子



# 男大いに語る

## 令和のはじまりに思う



(有) ネーミングこしの 社長  
越野 勉

新年あけましておめでとうございます。協同組合金沢問屋センターの皆様には口頃より大変お世話になりありがとうございます。昨年、新しい年号が「令和」となり、5月1日には新天皇陛下が即位されました。昭和、平成、令和と3つの時代を経験しております。またバブル景気、バブルの崩壊なども経験してきました。今年はどうなるのか、北陸新幹線開通効果で金沢の経済規模で考えると環境問題など不安要素が蓄積しています。日本においても令和元年は、度重なる台風の影響や記録的な豪雨により関東地方などに多大な被害が発生しました。また北陸新幹線の車両が水没し、本県も甚大な影響を受けることになりました。

対する意識レベルの違いでした。南海トラフ地震は必ず起こる、それに対する対策の準備も進んでいました。私も含め「金沢は災害がない」という、根拠のない安易な意識があるのではないのでしょうか。現実に金沢にも市内中心部に大きな断層があります。いつ災害が起こってもおかしくない状態なのです。災害に対する心構え、そして企業の発展、存続を今まで以上に緻密に考えていかなければならないと思われました。これからも組合と共にBCPの啓蒙、推進に努めていきたいと思っております。

## 金沢市卸売業競争力強化支援事業 人材育成をキーワードに BCPセミナーを実施

昨年は中小企業強靱化法が成立し、大きな台風が日本列島各所に大きな爪痕を残しました。地域経済を守り企業としての社会的使命を果たすため、BCPは重要なテーマです。当組合ではBCP策定が人材育成の新たな切り口としても有効と捉え、名古屋工業大学大学院 渡辺研司教授と中小企業診断士 長田英希氏を講師にセミナーを開催。BCPを策定することで、平常時から抱えている情報共有やボトルネック解消といった課題に良い効果をもたらした事例等を学びました。参加者からは「大企業より中小企業の方がメリットが大きい」「働き方改革、人手不足など諸問題解決のヒントになる」といった声も聞かれました。



(株)堀川商店 店長  
堀川 泰宏

## 「笑顔の最終ホール」を迎えるために

あけましておめでとうございます。今年にはなんとといっても東京オリンピックが

開催され、スポーツ好きの私としては楽しみな年であります。まずは日頃からご指導ご鞭撻いただいている方々に感謝申し上げます。今年で3回目の年男を迎えましたが、人生をプロゴルフのトーナメントに例えて1ホールを1年とすると、36ホールを迎え予選の2ラウンドが終了します。予選ラウンドの成績を振り返ると、なんとか予選通過できるのではないのでしょうか。残り2ラウンド、36年間の決勝ラウ

ンドは「タイガーチャージ」ならぬ「堀川チャージ」で追い上げをみせて「しぶ子スマイル」ならぬ「堀川スマイル」で最終ホールを笑って迎えられるように頑張りたいと思います。最後に、「子年の一言」とかかまして「ダイエットしているけれどお腹のすいたランチのこはん」と解きます。その心はどちらも「チユー」(こはんの盛り方も中)。本年もよろしくお願いいたします。



※BCP(事業継続計画)…災害等で事業が中断するリスクを最小限にするための戦略を記した計画書。次年度は、より具体的な内容での開催を検討していますので、ぜひともご参加ください。

## 第14回

## キマッシカップ ボウリング大会

## 第38回 商社対抗 ボウリング大会

第14回キマッシカップ・ボウリング大会が11月6日(水)、20社36チーム108名(男性67名、女性41名)が参加してマンボウ金沢において行われました。6連続ストライク(シックス)を達成する方が出たり、青年部会も参加して団体7位になったりと、大いに盛り上がりました。



団体の部で優勝した金沢市水道サービス公社の皆さん。

【団体の部】	
優勝	金沢市水道サービス公社 (平均得点165.2点)
準優勝	(株)マルシンA (平均得点141.0点)
第3位	理光商事(株) (平均得点140.0点)



個人男子の部優勝の松原真珠さん。

個人女子の部優勝の笹木千春さん。

【個人男子の部】	
優勝	金沢市水道 松原 真珠 474点 (227点・247点)
準優勝	理光商事(株) 平野 智宏 366点 (172点・194点)
第3位	(株)マルシンA 山前 典明 350点 (173点・177点)

【個人女子の部】	
優勝	アイビーシステム(株)A 笹木 千春 303点 (179点・124点)
準優勝	織田寝具(株) 新保 加奈 288点 (134点・154点)
第3位	(株)オータニ 駒井 英津子 273点 (113点・160点)

## わが社をPR

## 黒崎産業 株式会社 勇気を持って変身、進化!

メラミン化粧板、人工大理石といった建築資材を内装や木工家具の業者に納めています。使用されるのは主に商業施設、店舗のイメージに合わせて設計される造作家具などで重宝され、要望によって施工にも対応しています。

創業から83年の社歴の中で、大黒柱だったガソリン部門を譲渡し建材にシフトした経験があります。当時はまだまだガソリンの時代、黒崎産業は潰れるんじゃないかとまで言われましたが、あの時の



代表取締役社長  
黒崎 嘉之

先代の決断がなかったら今はありません。今後は少子高齢化で建物が増えていくことは望みませんし、新幹線効果で膨らんだ内装の需要もどこかでピークアウトするでしょう。当社のお客様である木工家具屋さんが仕事を続けるために何ができるのか考えた時、高齢者向けのリフォームに思いが至りました。

ただ、一般住宅は当社にとって未開拓の分野であり、リフォーム

## トライを繰り返しながら みんなで成長していこう

趣味はトライアスロンですが、実は学生時代から苦しい運動が大嫌いでした。そんな僕が、どうやったら完走できるまでになったか? 競技をスイム、バイク、ランに分解してそれぞれに距離を少しずつ伸ばし、「2種目やってみよう」「今度は距離を短くして3種目やってみよう」など、できることを徐々に増やしていったんです。

経営上の問題も実は分解ができて、トライアルアンドエラーを繰り返しながら、目標に近づいていけばいいと考えています。年に3回実施している社員発表会もそのためのツール。自分で目標設定ができる段階からさらにレベルアップして、新規事業を考えるとどこまで到達してほしいと思っています。他の事業部の発表からトライの種を見つけ、ダメかもしれないけどやってみようというマインドを育てながら、社員みんなでレベルアップしたいと思っています。

のノウハウもありません。まずは高齢者とのつながりを持ち、何にお困りなのかを知るため機能訓練に特化したデイサービス「きたえる一む」のフランチャイズ募集に手を挙げました。

栄えていたものも時代が来ると役割を終えて必要なくなる、これは必然です。今は建材メインでやっていますが専門家ではない時代ではなく、いろいろな業界の方とのコラボに可能性を感じています。ぜひ声をかけてもらえればうれしいですし、僕も団地内の企業さんのことをもっと知りたいと思っています。